

新湯治・ウェルネスツーリズム事業に関する
調査委託業務 報告書

令和5年3月

別府市

【受注者:パシフィックコンサルタンツ株式会社】

目次

1. はじめに.....	1
2. 新湯治・ウェルネスツーリズム事業について	2
3. 立地場所について	12
4. 民間事業者へのサウンディング調査結果について	14
5. 市民アンケート結果について	15
6. 講演会の開催について	19

1. はじめに

別府市では、古くからの湯治文化を継承し、「医療・美容・健康」をテーマとして、科学的根拠を活用し、特別な体験ができる「コト」を主眼とした、新たな観光のカタチ「新湯治・ウェルネスツーリズム事業」を推進することとしている。「新湯治・ウェルネスといえば別府」というブランディングの確立に向けて、研究・実践拠点を中心に、既存の温泉施設や旅館・ホテル、飲食店等と連携しながら事業を展開し、経済波及効果を市全域にもたらすことを目指している。

本資料は、これらの取組を今後具体的に進めていくために、新湯治・ウェルネスツーリズム事業及び研究・実践拠点のあり方やコンセプト等を整理したものである。

2. 新湯治・ウェルネスツーリズム事業について

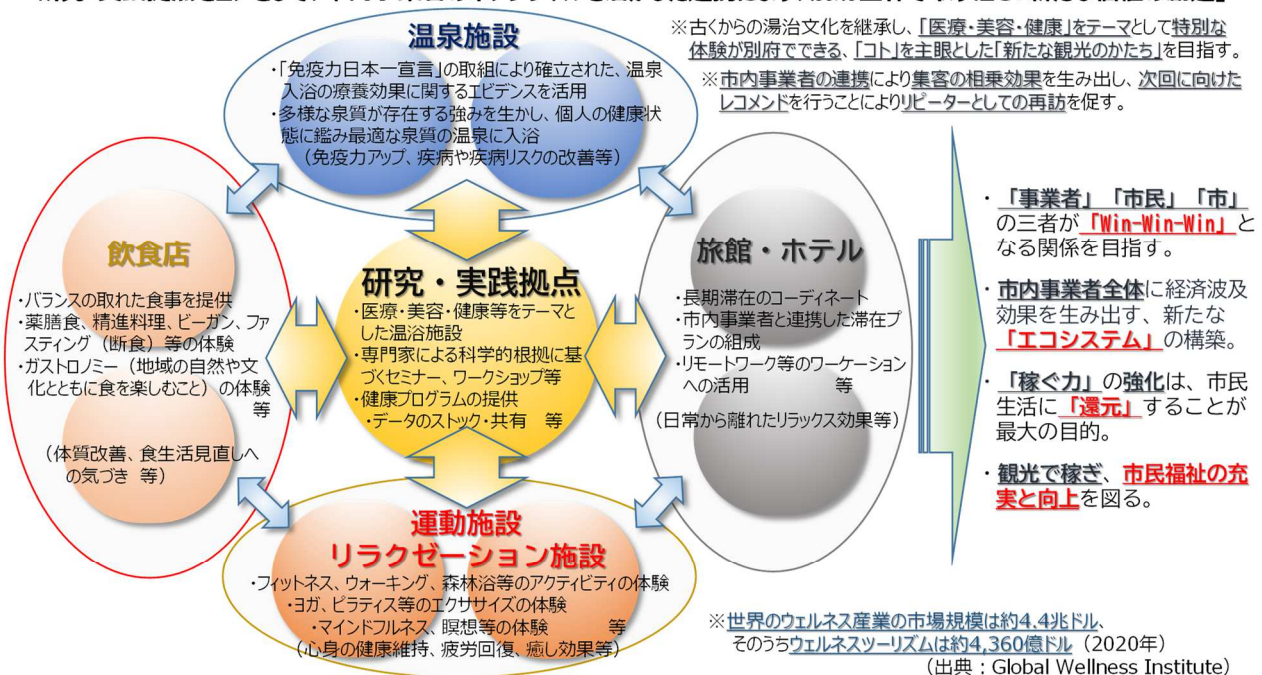
2-1 新湯治・ウェルネスツーリズムの考え方の整理

新湯治・ウェルネスツーリズム事業は、古くからの湯治文化を継承するとともに、世界的なトレンドであり、今後市場規模の拡大が期待される「ウェルネス」に着目し、「医療・美容・健康」をテーマとして、新たな観光のかたちを目指す取組である。

本事業は、下図のとおり、市内の温泉・観光業等に携わる事業者等と連携し、研究・実践拠点をコアとして別府市全体で取り組んでいくものである。

「新湯治・ウェルネスツーリズム事業」のイメージ

～研究・実践拠点をコアとして、市内事業者のポテンシャルを活かした連携により、別府全体で取り組む「新たな価値の創造」～



<期待される効果>

“『新湯治・ウェルネス』といえば別府”というブランディングの確立

【観光客】・・・気軽に楽しみながら健康づくり、自らの心身の健康の維持・増進に対する気づき、旅行に対する新たな付加価値

【事業者】・・・新たな観光客（ウェルネストラベラー）・ハイエンド層の取り込み、長期滞在・リピーターの獲得、他の温泉地との差別化

【市民】・・・健康増進施設としての活用（利便性の向上）、定期的なプログラムの体験、健康維持・病気予防による健康寿命の延伸

【市】・・・土地使用料収入、法人税・入湯税・固定資産税等の増収、雇用創出（UIJターンの促進）、医療費抑制

図 新湯治・ウェルネスツーリズム事業のイメージ

2-2 「新湯治・ウェルネスツーリズム」を推進するために実施する内容等の検討

2-2-1 「新湯治・ウェルネスツーリズム事業」のコンセプト

コロナ禍のほか、昨今のトレンド・ニーズを踏まえると、価値観が多様化し、旅の目的やあり方も変化しており、観光地には、「新しい滞在のかたち」が求められてきている。このような背景を踏まえ、新湯治・ウェルネスツーリズム事業のコンセプト(効果やウェルネスに取り組むメリット、取組の方針など)を以下に整理する。

「ウェルネス」を中心に、別府の“ブランド化”を図る

「ウェルネス」をキーワードとして、市・市民・事業者が一体となって別府にすでにある魅力を磨き上げることで、誰もが「幸福感」を得られる、持続可能な滞在型観光都市としての別府のブランド化を目指す



それにより・・・

地域にとって

- 地域の魅力をさらに高めると共に、新たな魅力を掘り起こすことができる
- リピーター・滞在日数・客単価のアップが期待できる
- 地域全体への波及効果が期待できる

来訪者・市民にとって

- 様々なウェルネスのサービスを継続的に受けられるようになる
- 今までとは違った切り口で、別府の資源を享受できる
- 体験したことを生活習慣に取り入れ、日常的に健康的な生活を続けることができる

なぜウェルネスなのか？

ウェルネスに取り組むメリット

市場拡大が見込める

- ・世界のウェルネス市場は490兆円。
- ・コロナ禍を踏まえ、心身の健康など、様々な「ウェルネス」への関心が高まっている。

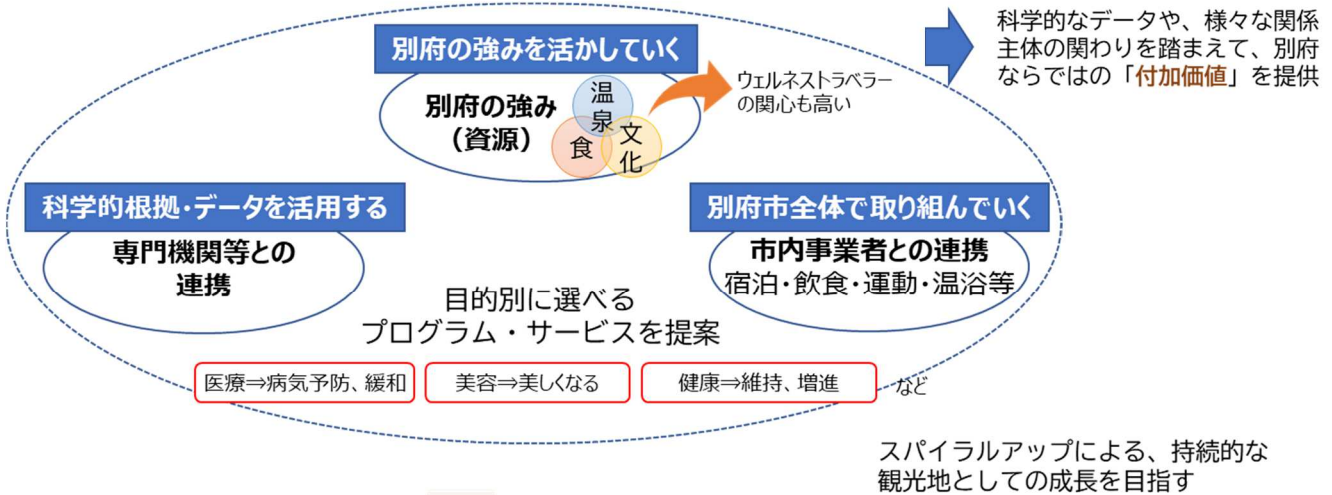
顧客層を拡大できる

- ・ウェルネストラバラーは、客単価の高さ、滞在日数の長さ、リピート率が高い。
- ・年齢・性別関係なく、ウェルネスに関心のある全方位をターゲットにできる。

別府市との親和性がある

- ・湯治場として心身の癒しに寄与してきた湯治文化はウェルネスに合致する。
- ・別府が有する地域性・独自性を活用できる。

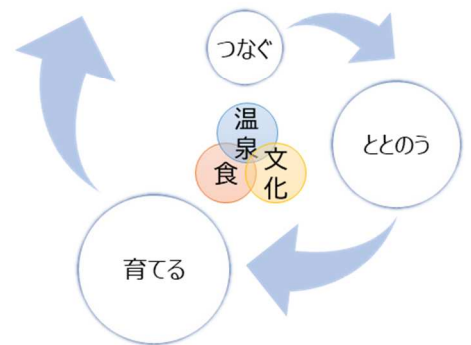
取組の方針



3つの視点

つなぐ ・ ととのう ・ 育てる

スパイラルアップによる、持続的な観光地としての成長を目指す



つなぐ

- ・ 資源をつなぐ…別府の強みである、「温泉・文化・食」を、ウェルネスを切り口として結びつける 【ストーリー※づくり】
 - ・ 地域をつなぐ…市内に点在する観光地・温泉地を結び付ける 【回遊の促進、市全体への波及】
 - ・ 人をつなぐ…別府にいる人・いない人問わず、別府を盛り上げたい人同士を結び付け、またその魅力を、広く世界に訴える 【マッチング・情報発信】
- ※ストーリー：プログラムを構成する「場所」「人」「コト」などの背景

ととのう

- ・ 場がととのう…資源をつなぎ、魅力的なプログラムを準備することで、利用者を迎える状態が整う 【プログラムの整理】
- ・ 人がととのう…別府に滞在し、様々なプログラムを体験する中で、心身共に健康になり、整った状態になる 【プログラムの体験、実施】
- ・ 社会がととのう…観光客のみならず、事業者、市民も含めて利益を享受でき、その効果が地域全体に波及する 【Win-Winの関係】

育てる

- ・ 磨き上げる…プログラムを磨き上げ、時代ごとのトレンドやニーズにも対応する 【持続性】
- ・ ファンを増やす…磨き上げたプログラムによって、ファンを拡大し、リピーターや滞在日数を増やす 【リピーター確保、滞在日数の長期化】
- ・ まちを育てる…サービスを提供する事業者の人材のみならず、まち全体のホスピタリティが成長し、また交流、定住人口が増えることで、まちが活性化する 【人材育成、活性化】

取組の方針としては、別府の強みを活かし、科学的根拠・データを活用し、別府市全体で取り組んでいくこととしている。医療、美容、健康など目的別に選べるプログラム・サービスを提案し、観光客などの利用者が、自分に合ったプログラムを体験することで、別府ならではの「付加価値」を享受できるように取り組んでいく。

また、「つなぐ」「ととのう」「育てる」という3つの視点をもって、取組を推進しながら、滞在型観光都市としての魅力を高めつつ、持続的な観光地としての成長を目指していく。

2-2-2 実施内容の検討

新湯治・ウェルネスツーリズム事業で実施する内容としては、別府の資源とウェルネスを組み合わせた滞在型のプログラムなどを提供していくものである。プログラムの体験をきっかけに、別府の新しい魅力を知り、別府にさらに興味を持って頂くことで、体験者に自分ならではの滞在の形を見つけて頂くことなども考えられる。

ウェルネスの分類として、下記の通り 6 つに分類している。分類されたウェルネスのそれぞれについて、別府ならではの手段を整理し、組み合わせ、目的別に選べるプログラムやサービスを提供することで、新たな別府滞在の形、新しい別府の楽しみ方を提案することとしている。

ウェルネスの分類

WELLNESS
ウェルネス

身体的・環境的・社会的・精神的など包括的な健康を基盤に、豊かな人生を能動的にデザインする

- 種類 -

- ・ Physical Wellness (身体的ウェルネス)
…身体的、肉体的な健康
- ・ Environmental Wellness (環境的ウェルネス)
…環境から与えられる健康
- ・ Social Wellness (社会的ウェルネス)
…社会的なつながり
- ・ Emotional Wellness (精神的ウェルネス)
…精神的、感情的な健康
- ・ Spiritual Wellness (スピリチュアルウェルネス)
…人生の目的・意義 (いきがい・やりがい)
- ・ Intellectual Wellness (知的ウェルネス)
…学び、知的好奇心



※ 他にも経済的ウェルネスなど様々なウェルネスがある

実施する内容の考え方

利用者の目的

健康の維持	病気の治療、予防	美しくなる
リラクゼーション・ダイエット・リトリート など	病気治療・免疫力up・リハビリ・妊活・術後、産後ケア など	アンチエイジング・パーソナルケア・デトックス など

別府に既にあるもの 強み

温泉				食		文化				
共同温泉	湯治	多様な泉質	湧出量	特産品	名物料理	歴史・伝統	芸術	伝統産業	多様性	まち・ひと

手段-別府ver-

Emotional 精神的	Physical 身体的	Intellectual 知的	Environmental 環境的	Social 社会的	Spiritual スピリチュアル
瞑想	ストレッチ	腸活 温泉腸活プログラム	登山 別府東山ハイキングコース 城島・猪の瀬戸トレッキングコース	地元のつながり	信仰 祭り
ヨガ	フィットネス	サウナ 鉄輪むし湯	海浜清掃 べっぶの海岸みまもり隊	まちあるき 八湯ウォーク	いきがい 温泉マスター検定
温浴 豊富な泉質・湯量	エステ 温泉を利用したエステ	トレーニング ルバ® フォーマジム別府	建築 温泉建築	地域体験 別府八湯温泉道 かなわ蒸し通りずむ	やりがい ツーリズムバレー
スパ	健康食 地獄蒸し料理	断食 回復食(蒸し野菜等)	森林浴 志高湖・神楽女湖		
		名所・観光地 地獄めぐり・博物館			
		アート BEPPU PROJECT			
		歴史探訪 文化財巡り			
		伝統体験 竹細工体験			

新たな手段の掘り起こしも必要

- 目的別に選べるプログラムやサービスを提供
- 新たな別府滞在の形、新しい別府の楽しみ方を提案

プログラムの検討にあたり、6つのウェルネスごとに、別府の資源を活かした別府ならではの体験の例を以下に示す。6つの分類に分けているが、複数の分類に属する体験もあり、また、これらはあくまで例であり、今後事業を進めていく上で、さらに多くの体験例を検討していくことが必要である。

別府ならではの体験(例)



Emotional 精神的

- ・〇〇寺で座禅体験
- ・眺めが良い露天風呂（明礬温泉など）につかる
- ・鉄輪むし湯で石菘の香りに包まれる
- ・温泉を利用したスパ体験
- ・RECAMP別府志高湖でキャンプ

Physical 身体的

- ・温泉腸活入浴法（入浴前のヨーグルト→入浴中のマッサージ→入浴後の腹式呼吸）を体験
- ・温泉を利用したエステ体験
- ・ハイパフォーマンスジム別府で体感ストレッチ、ズンバ、ピラティスなどパーソナルトレーニング
- ・断食の回復食に地獄蒸し料理
- ・フォレストアドベンチャーで本格的なアクティビティ体験

Intellectual 知的

- ・海地獄、血の池地獄など、定番の地獄めぐり
- ・大分香りの博物館で香りについて学びながら、オリジナル香水づくり
- ・地獄温泉ミュージアムで地獄について学ぶ
- ・BEPPU PROJECTが行うアートイベントに参加
- ・レンガホール～別府市公会堂～竹瓦温泉と別府の有形文化財めぐり
- ・竹細工伝統産業会館で竹細工体験
- ・共同温泉で地元の入浴ルールを学ぶ

Environmental 環境的

- ・別府東山ハイクコース、城島・猪の瀬戸トレッキングコース等で豊かな自然を楽しむ
- ・べつぷの海岸みまもり隊として海岸清掃に参加
- ・国の登録有形文化財である竹瓦温泉で温泉に入りながら、風情ある温泉建築を体感する
- ・緑豊かな自然や野鳥を眺めつつ、志高湖の廻りで森林浴
- ・別府スパビーチなどで海岸沿いをウォーキング

Social 社会的

- ・八湯ウォークに参加。（竹瓦かいわい路地裏散歩・人情の町亀川湯遊散策・鉄輪温泉ゆうぐれ散歩・堀田湯の里湯けむり散歩など様々なコース有）
- ・別府八湯温泉道（約150施設が参画）に参加。地元の人達が日常的に入る共同温泉を体験
- ・地域で行われる健康づくりセミナー・ワークショップ等に参加

Spiritual スピリチュアル

- ・温泉の恵みに感謝する別府八湯温泉祭りに参加
- ・温泉マイスター検定を受験。温泉のプロフェッショナルとして生きがいを感じる
- ・ONE BEPPU DREAM AWARD(起業提案)に参加
- ・別府学を学び、別府に対する誇りと愛着を育む

新湯治・ウェルネスツーリズム事業で実施するプログラムの具体例を以下に示す。

別府市では、「免疫力日本一宣言」を掲げており、これまで市内で行ってきた実証実験や、企業との包括連携協定締結などを踏まえ、「腸活」をキーワードとした「別府・腸活プログラム」を始め、その他想定される計 8 つのプログラム例を以下に示す。

プログラム例

「免疫力日本一の別府」を目指して



① 別府・腸活プログラム

腸内環境を整える
デトックス、体重のコントロール
消化器系を整え、全体的な健康増進を目指す

5泊～7泊
*1泊2日、2泊3日のお試しコースも

含まれているもの：

- 宿泊
- ヘルス/ウェルネス・コンサルテーション（ヘルスチェック/問診）
スキン・チェック（肌の状態をチェック）
- 食事（腸内環境を整えるための健康的な食事）
- アクティビティ（地域・文化体験・運動・クラス・瞑想など）
- 温浴（サウナ・スチーム・ジャグジー・入浴）
- マッサージ（腸活マッサージ・鍼灸など選べる）
- 滞在後チェックアップ（フォローアップ）

- ✓ Physical
- ✓ Emotional/Mental
- ✓ Social
- ✓ Intellectual
- ✓ Environmental
- ✓ Spiritual

- ✓ 温泉
- ✓ 食事
- ✓ 文化

◇スケジュール

① 別府・腸活プログラム

1日目

14:30 チェックアップ
15:00 チェックイン
16:00 入浴 ☺
17:00 腸活マッサージ
18:00 ディナー

21:00 瞑想/クラス



2日目

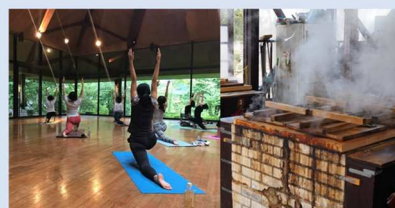
8:00 入浴 ☺
9:00 ストレッチ
9:30 クレンジング・ジュース

10:30 腸活ブランチ

13:00 別府文化体験
15:00 別府ウォーキング

17:30 腸活ディナー

温泉 ☺
21:00 ナイトヨガ/ストレッチ



3日目

8:00 入浴 ☺
9:00 ストレッチ
9:30 クレンジング・ジュース
10:00 腸活クッキングクラス
～食事

12:00 チェックアウト
チェックアップ





② ファスティング（断食）

ジュース・ファスティングと温浴（温泉・蒸し風呂など）の相乗効果でアンチエイジング。自然の中でのマインドフルな時間・ストレッチやウォーキングなどの適度な運動で無理なく健康的にファスティングを。別府の旬を生かした回復食も



③ 別府で美しくなる<スパ・ビューティ・リトリート>

別府の豊富な泉質に合わせたトリートメントを。温泉とスパ・トリートメント三昧の3日間。美容はもちろん、心身のバランスを整え、究極のリラゲゼーションを楽しみたい方に。



④ 心と体のデトックス<別府ヨガ・ホリデー>

毒素排泄プロセスを促進する食事とヨガで、心と体のデトックスを。初心者の方から上級者まで、朝ヨガ、夜ヨガを楽しみながら心身を整えます。



⑤ ディープな別府を堪能する<別府ディープ・ヒーリング>

温泉や自然の中での癒しはもちろん、個性的な別府在住のヒーラーによるさまざまな施術やセッションを通して感情・精神的なバランスを取り戻す



⑥ 継続可能<サステイナブル・ダイエット>

別府の自然の中での運動、温浴を取り入れながら、食事・メンタルバランスをトータルに整え、自宅に戻っても継続可能なダイエット習慣を身につける



⑦ フィットネス・ウィークエンド

体を整えフィットネスや運動でのパフォーマンスを今以上に引き上げていきたい方へ。地元トレーナーによるパーソナルトレーニング、地形を生かしたトレイルランやウォーキング



⑧ ウェルネス×楽しむ<別府ウェルネスフェス>

まちなかや自然の中で催されるヨガや瞑想、トレイルランやフィットネスなど、ウェルビーイングを促進する様々なアクティビティを体験。食事や音楽、温泉なども一緒に楽しむ。

新湯治・ウェルネスツーリズム事業で実施する内容として、プログラムの検討などを行っているが、プログラムは別府の新しい魅力を知り、さらに興味を持って頂くきっかけとなるものであり、様々なプログラムを切り口に別府を訪れる人が増え、リピーターとなり、プログラム以外の独自の体験を求める別府のファンが増えることを期待するものである。

プログラムの考え方について、以下にまとめる。

プログラムの考え方

- ① 別府・腸活プログラム ★『別府 温泉腸活プロジェクト』★
 - ② ファスティング(断食)
 - ③ 別府で美しくなる<スパ・ビューティ・リトリート>
 - ④ 心と体のデトックス<別府ヨガ・ホリデー>
 - ⑤ ディープな別府を堪能する<別府ディープ・ヒーリング>
 - ⑥ 継続可能<サステイナブル・ダイエット>
 - ⑦ フィットネス・ウィークエンド
 - ⑧ ウェルネス×楽しむ<別府ウェルネスフェス>
- 等

プログラムを
「別府の新しい魅力を知り
きっかけ」
「別府にさらに興味を
持つきっかけ」
にする

プログラムの提供にあたっては、

- ・温泉、食、文化の3つの要素が感じられるプログラムとする
- ・基本的には5～7泊（宿泊数が短いお試しコースがあっても良い）
- ・毎日繰り返し、パターンを作る

プログラムを体験することで、リピーターを増やし、
プログラム以外の独自の体験を求めるファンも増やしていく

2-3 研究・実践拠点に必要な機能等の検討

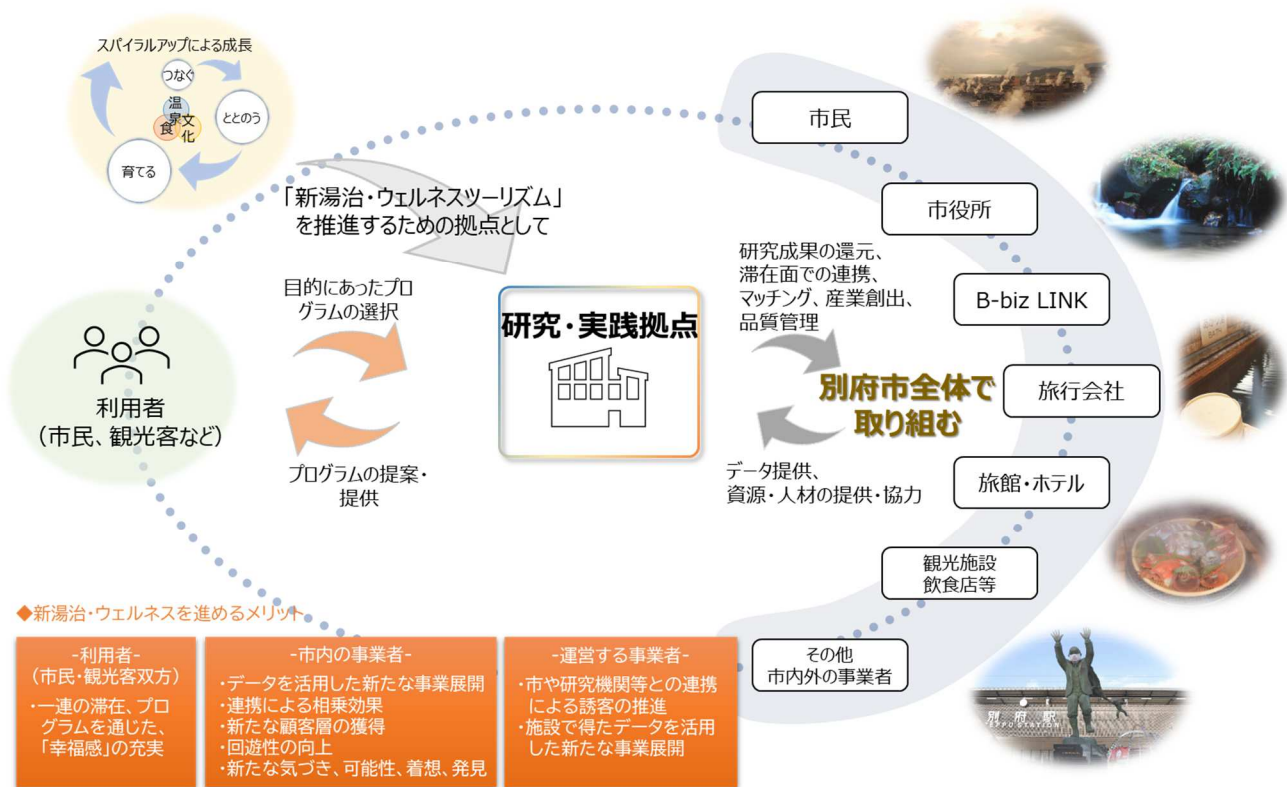
「新湯治・ウェルネスツーリズム」で実施する事業内容を踏まえ、事業を進めていく上で中心的な役割を担う研究・実践拠点の機能等について検討を行う。

2-3-1 研究・実践拠点のコンセプトの検討

研究・実践拠点は、ウェルネスをキーワードとして、別府市の人・地域・資源をつなぎ、別府市全体で取り組んでいく上での拠点となる場所である。

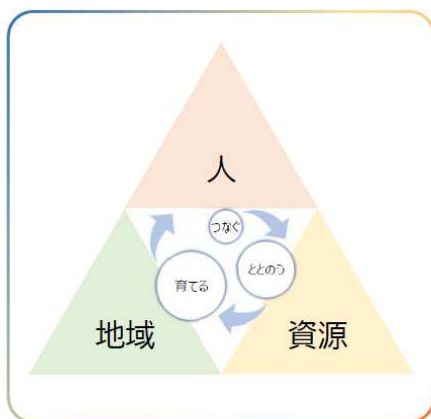
以下に、研究・実践拠点をとり巻く関係性やコンセプトなどを示す。研究・実践拠点には、市内の資源や人材等と連携・協力して、様々なプログラムやサービスの構築を先導的に担う役割が求められる。

研究・実践拠点の関係性



研究・実践拠点のコンセプト

人・地域・資源をつなぎ、ととのえ、育てる、別府滞在のウェルネス・ストーリーを創造する拠点

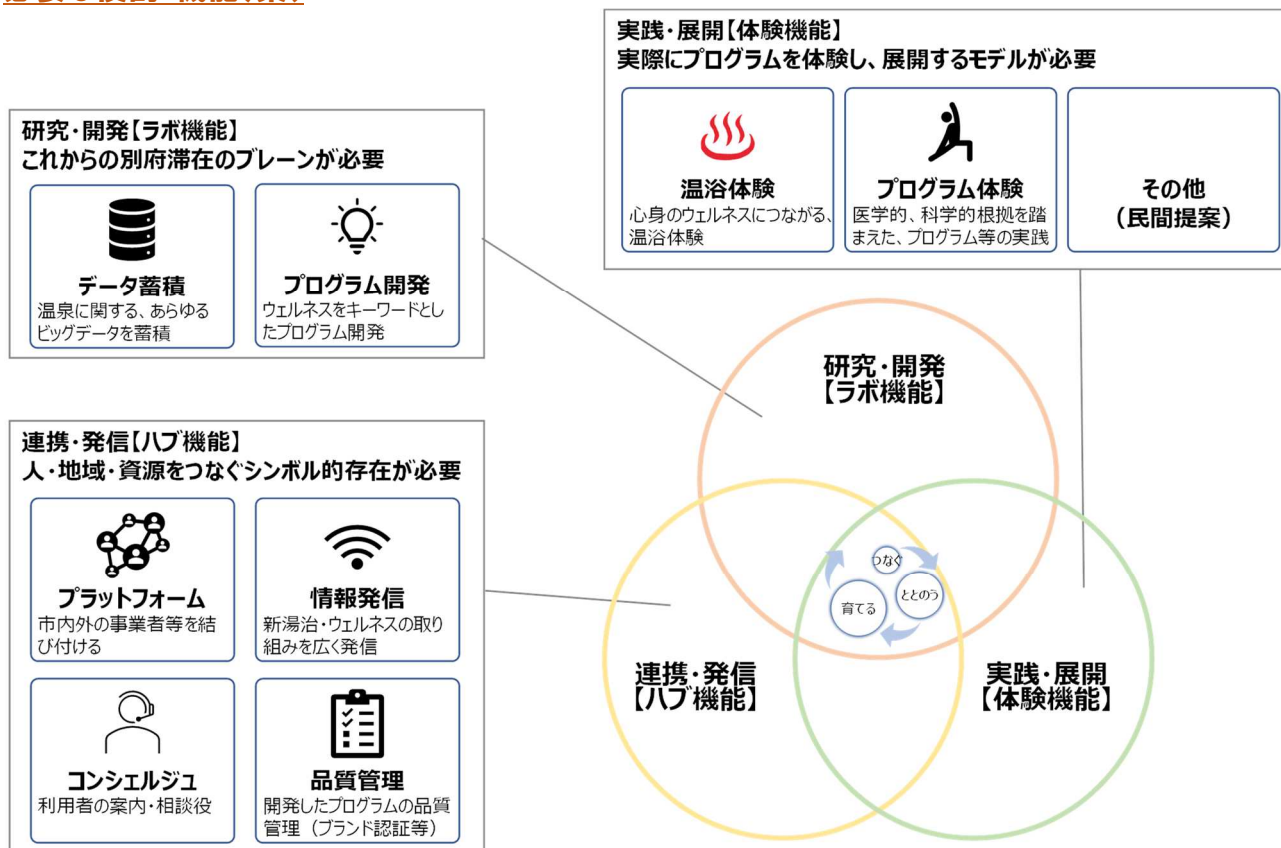


- 今ある資源を見つめ直し、「ウェルネス」をキーワードとしてつなぎ、人や地域と連携しながらプログラムを組み立てる。
- プログラムを検討する際、医学的・科学的なデータ等も活用しながら、滞在による効果（幸福感の実感）を目に見えるかたちでわかりやすく示す。
- 研究・実践拠点は民間資金を活用し、利用者にとって新しい滞在のカタチを体感できる拠点となる。
- そこで得たデータや実績、開発したプログラム等を、市内の事業者提供、展開し、市全体で取り組む仕組みづくりを行う。

2-3-2 研究・実践拠点の機能の検討

前述のコンセプト整理を踏まえ、研究・実践拠点の機能(案)を以下に示す。機能の大分類としては、「ラボ機能」・「ハブ機能」・「体験機能」の3つを想定し、詳細については、民間の提案等を含めた施設づくりを行うことを想定する。

必要な役割・機能(案)



3. 立地場所について

3-1 候補地の抽出・整理

研究・実践拠点を設置する候補地について、下記の要件で、21箇所の候補地(一次)を抽出した。

- 連担する 1.0ha 以上の市有地
- 市街地及び市街地の近接地
- 利用中の学校や市営住宅などを除く

候補地(一次)として抽出したエリアの概要を下表に示す。

表 候補地(一次)の概要※

No	エリア	所在	登記地積
1	旧山の手中学校	山の手町 3230 外	約 1.8 ha
2	実相寺中央公園	大字鶴見字実相寺山 3467-3 外	約 13.5 ha
3	鉄輪地獄地帯公園	大字鶴見字用水 796-1 外	約 6.9 ha
4	南立石公園	大字南立石字向原 1880-1 外	約 11.2 ha
5	北石垣公園	石垣東九丁目 2582	約 1.9 ha
6	浜脇公園	浜脇一丁目 4078-41 外	約 1.0 ha
7	大平山ふれあい広場	大字鶴見字タタラ 1893-1	約 1.2 ha
8	別府公園	大字別府字野口原 3018-3 外	約 11.5 ha
9	鶴見園公園	大字南立石字中津留道北 2139-14 外	約 2.0 ha
10	南石垣公園	石垣東四丁目 1050	約 1.9 ha
11	境川緑地	若草町 100-38 外	約 1.6 ha
12	中央浄化センター	亀川東町 1363-46	約 7.7 ha
13	市営ざぼん園	大字野田字姫山 340-1	約 6.7 ha
14	別府市公設地方卸売市場	亀川浜田町 990-91 外	約 6.9 ha
15	港湾交流施設用地(多目的広場)	大字北石垣字一町田 1999	約 1.9 ha
16	野口原総合運動場	大字別府字野口原 3088-9 外	約 8.9 ha
17	風穴展望台下	大字鉄輪字ソフザンヤ 516-1	約 19.5 ha
18	旧冷川焼却場	大字内竈字久保田 3576-1 外	約 2.5 ha
19	扇山下	大字鶴見字尖石 1691-1 外	約 15.0 ha
20	旧亀川住宅	大字内竈字上別府 1226-3	約 1.2 ha
21	旧浜脇中学校	大字浜脇字神ノ木 1207-1 外	約 1.1 ha

※台帳に記載されている情報であるため、面積などが現状と異なる可能性がある。

3-2 泉源調査

大分県が行った温泉調査のデータを用いて、泉源の位置、種類(一般泉、噴気沸騰泉等)、状態(源泉能力、源泉水質、温度等)、利用の有無などについて整理を行った。

なお、泉源状況(泉源が確認されている状況)や利用状況(泉源の利用の有無)など、その分布も含めて整理し、分布図の作成などを行ったが、個人所有の泉源がほとんどであり、個人情報に該当するため、非公開とする。

整理した結果、泉源は、別府市内全域に広がっており、特に沿岸部が多く、その他、鉄輪温泉、明礬温泉、堀田温泉周辺が比較的多い。

また、利用されていない泉源や、利用中であるが湯量に余剰がある泉源などについては、今後活用できる可能性があるとして想定され、このような泉源も広範囲に存在している。

なお、このデータ整理だけでは、実情と異なる可能性があるため、実際に使用可能か判断する際には、所有者への聞き取りなども含め、詳細を確認する必要がある。

4. 民間事業者へのサウンディング調査結果について

研究・実践拠点は民間事業者の資金やノウハウを活用した整備・運営を想定している点を踏まえ、担い手として想定される複数の民間事業者に対して、サウンディング調査を実施した。主な意見を下表に示す。

表 民間事業者の主な意見

意見・アイデア等
<ul style="list-style-type: none">● 事業化すれば、大変面白い事業だとは思う。● 現在の別府では、複数日の滞在を伴うコンテンツに乏しい。● ここでしかできない体験が必要。 など
事業手法について
<ul style="list-style-type: none">● PFIや、土地の民間譲渡などが想定される。● 公共サービスとして実施するのか、民間事業としての事業採算性確保を優先して実施するのかを明確にすべき。 など
参画の可能性について
<ul style="list-style-type: none">● 関心はある。● 興味はあるが、自社ですべて担うのは困難。研究などについては大学等との連携が必要。● 決定事項が少ないので、現時点での回答は困難。 など
市に対する要望事項等
<ul style="list-style-type: none">● 市内事業者との連携等については、市の支援が必要。● 資金調達面で、国や市の金銭的な支援があればよい。● 訪れたいと思えるような、魅力づくりを別府市全体で取り組むべき。 など

5. 市民アンケート結果について

別府温泉の現状と今後の活用について市民の意識を把握するため、また、温泉に対する市民の認識と、市民目線での今後の温泉活用の方向性(心身の健康・美容含む)を明らかにするため、市民アンケートを実施した。

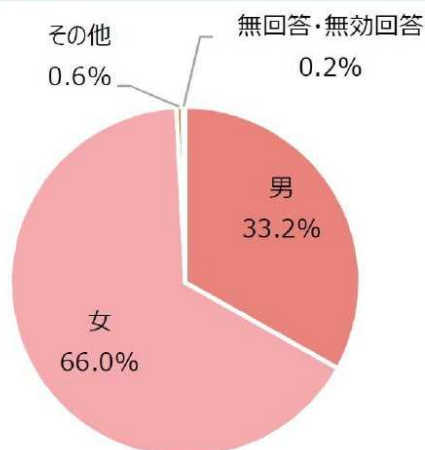
表 市民アンケートの概要

項目	内容
調査方法	別府市 LINE 公式アカウントを活用し、web により実施する。
実施時期	令和5年2月1日～同年2月 15 日
調査対象	別府市 LINE 公式アカウントを登録している人(R5.2.21 時点約 2 万人) (市外居住者含む)を対象に、アンケートの案内を通知し、任意回答とした。
回答数	2,844 票

調査結果を以下に示す。

問1 性別(1つに○)

「女」が66.0%と最も多く、次いで「男」が33.2%となっている。



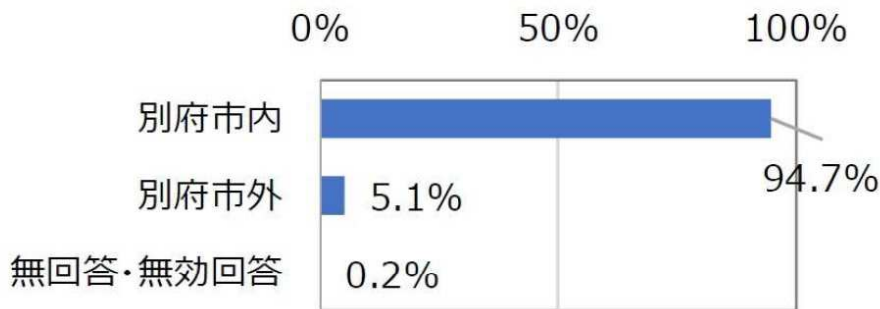
問2 ご年齢(1つに○)

「40代」が32.2%と最も多く、次いで「50代」が20.5%、「30代」が17.1%となっている。



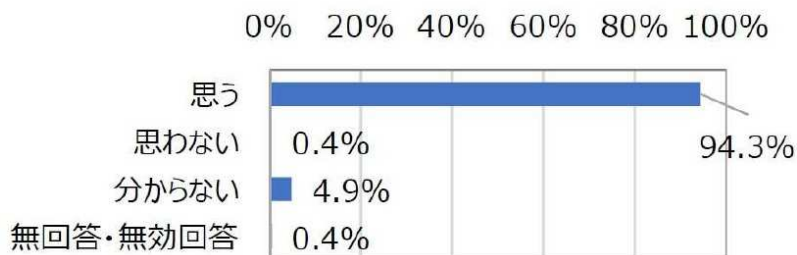
問3 お住まい

「別府市内」が94.7%、「別府市外」が5.1%となっている。



問4 温泉は健康に良いものと思いますか？(1つに○)

「思う」が94.3%と最も多く、次いで「分からない」が4.9%、「思わない」が0.4%となっている。



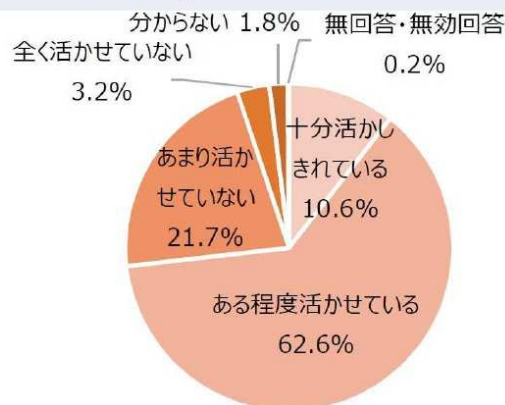
問5 温泉の健康への効果について知っていますか？(〇〇泉は〇〇病に効果がある など)
(1つに〇)

「少し知っている」が52.9%と最も多く、次いで「ほとんど知らない」が30.8%、「よく知っている」が10.7%となっている。



問6 別府観光は温泉が強みの一つと思いますが、その強みを十分に活かしきれていると思いますか？(1つに〇)

「ある程度活かしている」が62.6%と最も多く、次いで「あまり活かしていない」が21.7%、「十分活かしきれている」が10.6%となっている。



問7 あなた自身の温泉の楽しみ方は何ですか？(あてはまるもの全てに〇)

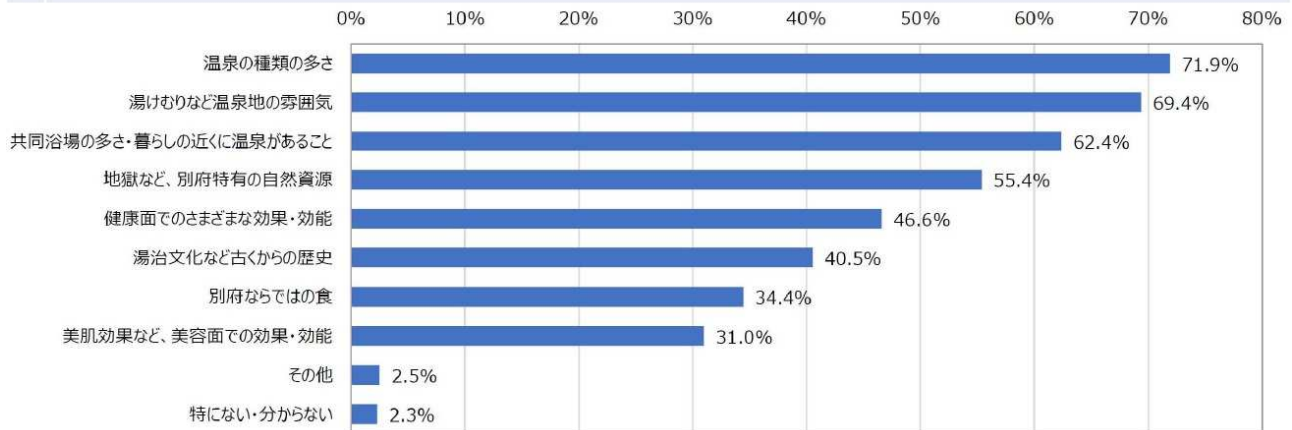
「リフレッシュ・開放感を味わうこと」が75.5%と最も多く、次いで「入浴して心身ともに健康になること」が75.0%となっている。



※「その他」として、地域との交流、家族や友人との交流、自宅での利用、生活の一部、健康増進、リフレッシュなどの意見がありました。

問8 あなたが、広く自慢したい別府温泉の魅力は何ですか？(あてはまるもの全てに○)

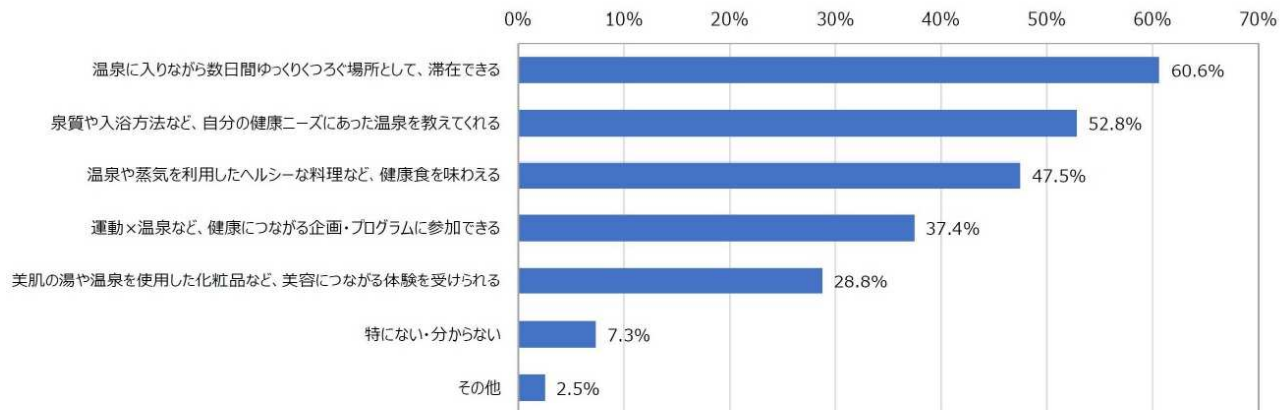
「温泉の種類の多さ」が71.9%と最も多く、次いで「湯けむりなど温泉地の雰囲気」が69.4%となっている。



※「その他」として、温泉の多様性、豊かな自然、文化、安価に楽しめるなどの意見がありました。

問9 別府市では、温泉を活用し、「医療・美容・健康」をテーマとして特別な体験ができ、心身の健康につながる新たな価値の創造を目指しています。あなたにとって、「心身の健康につながる」温泉を活用した体験として、どのようなものが魅力的だと感じますか？(あてはまるもの全てに○)

「温泉に入りながら数日間ゆっくりくつろぐ場所として、滞在できる」が60.6%と最も多く、次いで「泉質や入浴方法など、自分の健康ニーズにあった温泉を教えてくれる」が52.8%となっている。



※「その他」として、食の体験、美容の体験、子どもから大人まで楽しめるアミューズメント体験、医学的なサポートを受けられる体験、リラクゼーション体験、サウナ、費用について、施設整備についての意見がありました。

問10 別府温泉の現状や今後について、ご意見がございましたらお聞かせください。

新たな施設や取組、共同浴場、既存施設の管理、料金、温泉保全、温泉マナー、観光、まちづくり、歴史・文化などについて意見がありました。

6. 講演会の開催について

新湯治・ウェルネスツーリズムを推進するため、『別府市における「新湯治・ウェルネスツーリズム」の可能性について』と題して、新湯治・ウェルネスツーリズム講演会を下表のとおり開催した。

表 新湯治・ウェルネスツーリズム講演会の開催概要

日程	場所	講師	内容	参加者
令和5年 2月15日(水) 14:00~	ビーコンプラザ 1階 中会議室	ヴィセラ・ジャパン(株) 代表取締役 武藤 興子 氏	別府市における「新湯治・ウェルネスツーリズム」の可能性について	約 80 名

新湯治・ウェルネスツーリズム講演会

“別府市における
「新湯治・ウェルネスツーリズム」の可能性について”

日 時 令和5年2月15日(水) 14:00~
場 所 ビーコンプラザ 1階 中会議室
講 師 ヴィセラ・ジャパン株式会社 代表取締役 武藤 興子 氏

一 次 第 一

1. 開 会
2. 市長挨拶
3. 講 演
4. 質疑応答
5. 閉 会

講師プロフィール



横浜生まれ。大学卒業後、建設（日本）、IT（アメリカ）、官公庁（イギリス）、化粧品メーカー（フランス）と国も文化も業界も全く異なる環境で仕事を体験。その後、植物療法・治療目的の製品開発を原点とするフランスのスパブランド「YON-KA（ヨンカ）」と出会い、日本における独占販売権と世界ではじめてブランドの名を冠した直営店の運営権を獲得し、現在に至る。

ブランドの普及のみならず、スパ&ウェルネス分野に特化したコンサルティング、プロデュース、マーケティング&マネジメント支援等の総合的なサービス提供に携わる。

国内の直営店は日本のトップスパ「クリスタルアワード」で連続トップ10入りし、日本一である『ベストスパ賞』も3回獲得のほか、個人としてもスパ・マネジメント賞を受賞した。

厚生労働大臣認定温泉利用型健康増進施設の認定要件として義務付けられている「温泉利用指導者」資格を有し、温泉を利用したプログラム構築も行っており、スパ&ウェルネス、キャリア構成に関するセミナーや大学・大学院での講義も担当する等、スパ&ウェルネス分野で幅広く活躍している。